

<目指す学校像>
生徒が「日本一だ」と誇りをもって卒業することができる学校

<学校教育目標>
志高く 心豊かな生徒
主体的に学び、考える生徒
たくましく生きる生徒

熊谷東中学校だより
第7号
し の の め

東雲

令和4年11月28日発行

4つの実践

- 朝ごはんをしっかり食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元氣よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

3減運動

- 減** テレビの時間を減らします。
- 減** ゲームの時間を減らします。
- 減** スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

スマホ使い方を

① 目的
② 時間
③ 場所
④ 相手

自分や周りの人の情報を管理する。
他人を褒めたり励ます。
嫌いな人から情報入手し、正確な判断をする。

ぼうちゅうかん
「忙中閑あり」

熊谷市立熊谷東中学校長 伊藤 幸男

朝、校長室前の廊下にある日めくりカレンダーをめくることで、私の学校生活の一日はスタートします。それは実に小さなものですが、旧暦やその日が歴史的にどんな日であるかの記載があります。例えば、11月23日には、「勤労感謝の日」「神農祭」「熊本八代妙見祭」「手袋の日」「外食の日」などの情報がありました。そのような情報の中でも、いつも私が声に出し読みながら注目しているのは、「ことわざ」や「言い回し」です。この日の言い回しは「忙中閑あり」でした。皆さんは、この言葉を聞いたことはありますか。

この言葉は、昭和の哲学者、思想家である安岡正篤という方が作られた言葉で、『ただの閑(ひま)は退屈でしかない。真の閑(ひま)は忙中である。ただの忙(ぼう)は価値がない。文字通り心を亡(うしな)うばかりである。忙中閑あって始めて生きる。』と説明しています。つまり、忙しい中であってこそ暇や余裕に価値を見いだせるものであり、逆にその暇や余裕を見いだせないようであれば忙しくしていても何の意味もない、そのような意味だと私は理解しています。

休日に一日寝て過ごしたという経験が若い頃ありましたが、十分休養になったなあと思う反面、何だか損をしたような罪悪感、虚無感のようなものを感じた記憶もあります。逆に、仕事に忙しく向き合い張り詰めた状態で時間を使っているつもりでも、実は結構何もしていない時間、無駄な時がある。「自分は今忙しいのだ」という思考に陥っているとその「閑」に気付けないものだと思いたてて思います。



生徒の皆さんもこのような経験をしているのではないのでしょうか。かつて担任を持っていた頃、「生活ノート」に「毎日が本当に忙しい。時間が全然足りない!」という内容を頻繁に書いてくる生徒がいました。確かに、部活動の練習後、週6日間塾や習い事に行くという過密な生活リズムにどっぷりな状態だったようでした。宿題は雑にこなすだけ、塾の勉強や習い事もただ休まず通っているというだけであるため、成績や技能はなかなか高まりませんでした。



しかし、家族間のあるやり取りをきっかけに、その生徒の考え方に変化が出てきました。「忙しい、忙しい!(じっくり宿題や習い事をやるヒマはない!)」という発言から「忙しい中でも毎日ちょっとずつ宿題を進めよう、習い事の技能を高めよう」に行動や意識が変わっていったのです。部活動引退後の9月からは朝練の時間と同じくらいの時間には登校し、教室で宿題の確認や自主勉に取り組むようになりました。「こんなの分からない、出来る訳ない」というネガティブな言動が、「よしやってみよう」といったポジティブな言動に変わっていったのです。その変化とともに着実に実力を身に付けていく様子には大変驚かされました。

皆さんもまず「忙しい」とか「時間がない」という思い込みをやめ、1日5分とか1日3問といった無理の分からないスキマ時間をしぼり出すことを習慣化して「忙しい思考」を打ち破ってみましょう。そうすれば、今までできなかったことが少しずつ出来るようになってくると私は思います。

忙しいときほど余裕を大切に、余裕のあるときほど忙しいときの生活を忘れない、そういう心構えが必要なのかもしれません。 ※なお、生徒の考え方に変化を生み出した「家族間のあるやり取り」はどんなことだったのか疑問に思われた方も多いかもかもしれません。ぜひ、この点をご家庭で話し合ってみて下さい。



熊谷東中歳時記(10,11月)



生徒会選挙【10月25日(火)】



新生徒会本部役員を決める選挙を実施しました。各立候補者の推薦責任者は、お昼の放送で、推薦理由を発表し、選挙当日は、立候補者がオンラインにより考えや思いを述べることができました。熊谷市選挙管理委員会から、実際の選挙で使用する投票箱をお借りし、投票しました。

本校の選挙管理委員の皆さんのおかげで、この日のうちに選挙結果が判明しました。この生徒会選挙においても多くの方がそれぞれに活動することができました。活動から学んだことを今後の学校生活に生かしていきましょう。

東雲祭【10月27日(木)】



令和4年度の東雲祭、どのクラスも精一杯練習し、当日は素晴らしい歌声を響かせることができました。今年度は、埼玉県立浦和高等学校の櫻井先生をお招きし、指導をいただきました。

素晴らしいのは、合唱だけではなく、この日までに丁寧に制作を続けて完成した作品や、選ばれた理科の研究内容等についても掲示し、その成果を全校で共有することができた点です。それぞれがもつ得意な部分、よさをさらに発見し合えるといいですね。

学級委員任命式、生徒会引継ぎ式【11月21日(月)】



後期学級委員の任命式と、生徒会本部役員の引継ぎ式を行いました。生活の場でもあり、学習の場でもある学級(クラス)を、そして伝統のあふれる熊谷東中学校全体をよりよい空間にできるよう436人の生徒の全員で協力し合いつくり上げていきましょう。

月に1回行われる学年集会の様子を見ると、仲間たちの前で堂々と発表する姿勢はもとより、話す内容に素晴らしさがあふれています。また、聞く側の姿勢も話している人を尊重する聞き方ができていますね。お互いに認め合い、そして高め合う後期5か月間にしていきたいと思います。